

PRODUCTS DATA SHEET

三次元防水気密テープ

ハイパーフィット ST



用 途

- パイプ廻り部、手摺部、窓廻りなど、下地の三次元防水気密。
- 下地材目地の防水気密。

構造・材質

フィルム
ブチルゴム系粘着剤
はく離ライナー

特 長

- 三次元的な出隅、入隅部に補助材を用いることなく一体的に施工できますので、防水気密の信頼性が向上します。
- 粘着特性が高く、防水気密性に優れています。

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものではありません。
この文章に含まれる内容についての著作権等の権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他目的以外のご使用は固くお断り致します。

PRODUCTS DATA SHEET

製品サイズ

品名	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(m)	入数(巻/ケース)
ハイパーフィットST	1.3	45	5	12
		75	5	8
		200	5	4

注) 上記サイズ品は背割りはく離紙タイプもあります。

一般物性データ

試験項目	単位	測定値	測定条件	試験方法
180度引き剥がし粘着力	N/25mm	34.5	温度: 23℃ 引張速度: 300mm/min	JIS Z 0237:2000
引張強さ	N/25mm	タテ: 20.8		社内法
		ヨコ: 12.3		
破断時の伸び	%	タテ: 365		
		ヨコ: 550		
100%モジュラス	N/25mm	タテ: 13.3		
		ヨコ: 9.0		
残存100%モジュラス300秒後	N/25mm	タテ: 2.8		
		ヨコ: 2.1		
セパレーター剥離力	N/50mm	0.9	JIS Z 0237:2000	

※上記の数値は代表測定値であり、保証値ではありません。

粘着特性

試験片を試験中に伸びないように裏打ちし、各温度における180度引き剥がし粘着力を試験する。

- 測定条件: 引き剥がし速度300mm/min
- 測定方法: 測定温度に60分静置後、2kgローラーで1往復して圧着し、圧着30分後に測定。
- 試験方法: JIS A6112:2019(参考)

被着体	単位	測定温度		
		-10℃	23℃	60℃
SUS板	N/25mm	28.6	34.5	3.9
針葉樹合板		16.0	35.1	4.2
透湿防水シート		23.9	24.0	4.5

透湿防水シート: 不織布タイプ

ご注意: 本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものではありません。
この文章に含まれる内容についての著作権等の権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他目的以外のご使用は固くお断り致します。

PRODUCTS DATA SHEET

耐久性

180°C引き剥がし粘着力

試験片を加熱処理した後、23°C(標準状態)の室内にて粘着力を測定する。

- ・加熱処理条件 : 90°Cx7週(10年相当) 90°Cx14週(20年相当) 90°Cx21週(30年相当)
- ・試験方法 : JIS Z 0237:2000(参考)、JIS A 6112:2019(参考)

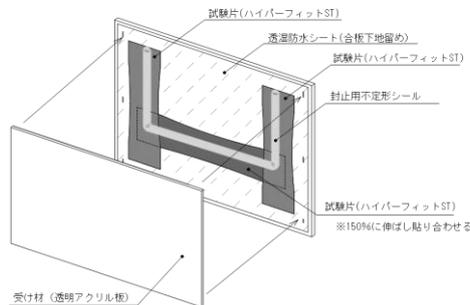
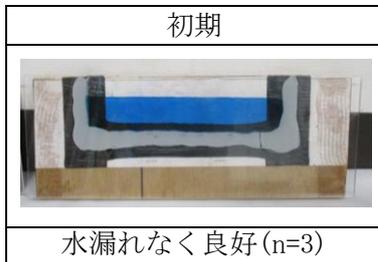
[N/25mm]

	初期	90°Cx7週 (10年相当)	90°Cx14週 (20年相当)	90°Cx21週 (30年相当)
粘着力	34.5	36.0	27.6	33.8
保持力	-	104%	80%	98%

密着安定性

右図のように試験体を作製し加熱処理する。加熱処理後、着色水を高さ30mmまで注水し、60分間垂直に保持した後、漏水の有無を確認する。

- ・加熱処理条件 : 90°Cx7週(10年相当) 90°Cx14週(20年相当) 90°Cx21週(30年相当)
- ・試験方法 : JIS A 6112:2019(参考)



90°Cx7週(10年相当)	90°Cx14週(20年相当)	90°Cx21週(30年相当)
水漏れなく良好(n=3)		

ご注意: 本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものではありません。

この文章に含まれる内容についての著作権等の権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他目的以外のご使用は固くお断り致します。

PRODUCTS DATA SHEET

注意事項

- 施工箇所は面材下地があり、テープが圧着できる事を確認して下さい。
- ハイパーフィットSTは下地に追従しやすくする為にテープが変形しやすく設計されています。変形させる場合の伸び率は2倍以内でご使用ください。
- 貼り付け前には被着面の確認をし、凸凹面、下地段差はできるだけ平滑にして下さい。次に、被着面の塵、埃、水分(結露など)、油分を清掃して下さい。
- テープは全面を充分圧着して仕上げてください。
- 冬場低温時は粘着テープを暖めると、接着が良くなります。
- はく離紙の上に乗りますと滑る恐れがありますので、はく離紙の上には乗らないようにして下さい。
- 高温下での不具合を避ける為、常温化でご使用下さい。
- 粘着テープは直射日光の当たらない室内に、ボール芯の円形が天を向くように置いて下さい。

- お問い合わせは・・・日東エルマテリアル株式会社 カスタマーセンター

E-mail : nitto-lmaterials@nitto.com TEL : 0120-640450 FAX:0120-126814

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものではありません。
この文章に含まれる内容についての著作権等の権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他目的以外のご使用は固くお断り致します。